

特別ツアーのご案内

講義の前に、特別に大学や施設をご案内します。
いずれも、講座お申し込み時に、ツアー参加希望も明記してください。
雨天決行します。集合時間に遅れた場合は、出発しますので、ご了承ください。

◆ 京都大学エコツアー 所要：約 45 分

集合：2013 年 5 月 16 日（木）16:30 京都大学時計台の建物入口

・コース（予定）：時計台を出発し、学内の LED 化の実態、学内店舗のエコな販売の工夫、ごみ分別、実験廃液の処理施設などをご紹介しながら、講義のある会場に向かいます。

◆ 京都リサーチパークツアー 所要：約 60 分

集合：2013 年 5 月 23 日（木）16:15 JR 丹波口駅改札

・コース（予定）：駅を出発し、リサーチパーク内の京都市産業技術研究所及び KISTIC 内にある KISTBIC（京都バイオ計測センター）などをご見学頂き、講義のある会場に向かいます。

お申込みのご案内

次をご明記の上、Eメールか FAX にてお申し込みください。

【1】参加講座・ツアー種別

【2】参加者の情報

- ①名前（ふりがな）
 - ②所属（大学生の場合：大学・学部及び学年、社会人の場合：会社・団体名等）
 - ③ご連絡先：電話番号、Eメールアドレス ④テキストの希望（※）
- ※全体を通したテキストとして、「3R・低炭素社会検定公式テキスト（ミネルヴァ書房）」を利用します。
原則として、第3講に参加され、かつ、前期・後期を通して8講以上参加される予定の方には、希望に応じて、無料で支給させていただきますので、条件に合う方で、テキスト支給を希望される方は、④の希望に○をお付けください。
- なお、各講師は、それぞれの資料を準備されますので、テキストがなくても、各講義の受講は可能です。

★Web Site (<http://eprc.kyoto-u.ac.jp/ceri/lecture2013/>) から申込用紙をダウンロードして頂けますので、そちらをご利用頂いても結構です。

★頂いた個人情報、本講座の運用に関してのみ使用します。

【京都大学総合研究2号館 Map】

法科第二教室は建物3階北辺にあります。



〒606-8501

京都市左京区吉田本町
京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター

公開講座事務局 担当 南尚美 矢野順也 浅利美鈴

TEL- 075-753-7703

FAX- 075-753-7710

Email- lec@eprc.kyoto-u.ac.jp



京都大学 京都大学環境安全保健機構
KYOTO UNIVERSITY 附属環境科学センター



一般財団法人 化学物質評価研究機構
Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

【主催】

京都大学環境安全保健機構

一般財団法人化学物質評価研究機構

2013 年度

リサイクルシステム論

環境と資源の保全に向けた科学・技術・政策

公開講座開催のお知らせ

京都大学環境安全保健機構におきましては、一般財団法人化学物質評価研究機構（CERI）の寄付講座を開催いたします。同機構では、研究機関の環境管理や健康管理、放射性管理のあり方を、実務を通して検討することで、環境に調和した豊かな人間生活を実現する研究基盤業務や教育、研究を推進しております。今回、同寄付講座にてリサイクルシステムを主対象に、環境と資源の保全に向けた科学・技術・政策のあり方に関する発信や情報交換等を行うこととしております。



募集要項

リサイクルシステム論の各講座の受講者を募集します

講義時間 各木曜日 17:30~19:00 19:15~20:45

会場 京都大学総合研究2号館3階法科第二教室 他

Eメール又は FAX にてお申し込みください（裏面参照）。

FAX : 075-753-7710

E-mail : lec@eprc.kyoto-u.ac.jp

お申込方法 ※電話での申し込みは受け付けておりませんのでご了承ください

受講無料

※先着100名様

みなさまのご参加を心よりお待ちしております



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター



センター長・教授
酒井 伸一



助教
浅利 美鈴

京都大学学際融合教育研究推進センター



副センター長・特任教授
横田 真

コーディネーターからのメッセージ

持続可能な社会の構築を目指すためには、環境保全や資源の循環・適正利用が不可欠です。しかしながら、現代社会は、大量かつ様々な資源を、多種多様な製品に加工・利用しており、利用や管理の在り方も、唯一の方策があるわけではありません。また、単に技術的な側面だけでなく、社会システムとして、多面的に検証する視点も必要です。

そこで、科学・技術・政策といった多面的な要素からなる資源リサイクルを、「リサイクルシステム」として捉え、その在り方について広く深く学ぶ機会として本講座を企画しました。前期・後期あわせて16週に渡る本講座では、私たちの暮らしに欠かせない、いくつかの製品等をテーマに取り上げ具体的に環境保全や資源循環の実態や課題、挑戦についてご紹介します。個別製品のリサイクルは、制度の新たな制定や見直しが見られる時期でもあり、各テーマでは、研究だけでなく実務の最前線にある方も講師に迎え、多角的な視点をご提供します。

全てを通してのご参加も、ご興味のあるテーマに絞ってのご参加も、歓迎致します。みなさまと知見を共有し、有意義な情報交換や議論ができますことを、楽しみにしております。

2013年度講座スケジュール

日時	17:30~19:00	19:15~20:45	会場
5月16日	第1講 「環境と資源の保全に向けた科学・技術・政策」 酒井 伸一 (京都大学環境科学センター長・教授)	第2講 「ゴム・プラスチックリサイクルの光と影」 大武 義人 (化学物質評価研究機構常務理事 高分子技術センター長 九州大学工学部客員教授)	京都大学総合研究 2号館法科第二教室
5月23日	第3講 「3Rと低炭素社会の学び方」 浅利 美鈴 (京都大学環境科学センター助教)	第4講 「持続可能な社会の形成に向けた智慧の活用」 西本 清一 (京都高度技術研究所理事長 京都市産業技術研究所長)	京都リサーチパーク KISTIC
5月30日	第5講 「容器包装リサイクル制度の変遷と今後の可能性」 横田 真 (京都大学学際融合教育研究推進センター 副センター長・特任教授)	第6講 「容器包装リサイクルの効果と今後」 山川 肇 (京都府立大学 生命環境学部准教授)	
6月6日	第7講 「自動車リサイクルの現状と今後」 小野 正 (経済産業省製造産業局自動車課 自動車リサイクル室長)	第8講 「自動車リサイクルにおける化学物質管理」 滝上 英孝 (国立環境研究所資源循環・ 廃棄物研究センター ライフサイクル物質管理研究室長)	
6月13日	第9講 「京都市における循環型社会構築に向けた取組」 堀 寛明 (京都市環境政策局循環型社会 推進部循環企画課担当課長)	第10講 「物質フロー分析」 平井 康宏 (京都大学環境科学センター准教授)	京都大学総合研究 2号館法科第二教室
6月20日	第11講 「残留性有機汚染物質 (POPs) に関する条約と現状」 窪田 清宏 (化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所研究第二部長)	第12講 「PCB処理の現状と今後」 由田 秀人 (日本環境安全事業 (株) 取締役)	
6月27日	第13講 「家電リサイクルの現状と今後」 住谷 安史 (経済産業省商務情報政策局 情報通信機器課 環境リサイクル室長・情報家電戦略室長)	第14講 「資源循環に関する科学・技術・政策のあり方: 一般発表と討論 (1)」 ご参加のみなさま	
7月4日	第15講 「京都力を活かした環境・循環政策~新たな挑戦~」 門川 大作 (京都市長)	第16講 「金属リサイクルの現状と今後」 渡邊 厚夫 (経済産業省産業技術環境局 リサイクル推進課長)	メルパルク 京都会議場D
11月7日	第17講 「温暖化・気候変動の科学」 松岡 譲 (京都大学大学院工学研究科 都市環境工学専攻教授)	第18講 「低炭素社会への取り組み」 関 莊一郎 (環境省地球環境局長)	
11月14日	第19講 「震災廃棄物処理の実態と今後への課題」 遠藤 守也 (仙台市環境局震災廃棄物対策室長)	第20講 「建設リサイクルとストック型社会」 橋本 征二 (立命館大学理工学部教授)	
11月21日	第21講 「化学物質の安全性評価」 吉田 智彦 (化学物質評価研究機構 久留米事業所試験第三課長)	第22講 「電池リサイクルの現状と今後」 浅利 美鈴 (京都大学環境科学センター助教)	
11月28日	第23講 「水環境保全に向けた排水管理の動向」 関 雅範 (化学物質評価研究機構 久留米事業所試験第四課長)	第24講 「生活にからむ水環境汚染の課題と今後の展望」 田中 宏明 (京都大学大学院工学研究科附属 流域圏総合環境質研究センター教授)	京都大学総合研究 2号館法科第二教室
12月5日	第25講 「循環型社会構築に向けた世界の動き」 Matthew GUBB (UNEP IETC, Director)	第26講 「資源循環に関する科学・技術・政策のあり方: 一般発表と討論 (2)」 ご参加のみなさま	
12月12日	第27講 「日本のバイオマス政策の現状と今後」 野津山 喜晴 (農林水産省食料産業局 バイオマス循環資源課長)	第28講 「ライフサイクルアセスメント」 平井 康宏 (京都大学環境科学センター准教授)	
12月19日	第29講 「再生可能資源としてのバイオマス」 柴田 昌三 (京都大学地球環境学学術教授)	第30講 「バイオマスリサイクルの現状と今後」 中村 一夫 (京都高度技術研究所 バイオマスエネルギー研究部長)	
1月9日	第31講 「持続的発展に向けた資源循環・廃棄物管理」 酒井 伸一 (京都大学環境科学センター長・教授)	第32講 「資源循環に関する科学・技術・政策のあり方: 討論とまとめ (3)」 ご参加のみなさま	

各講座の詳しい情報につきましてはリサイクルシステム論 Web Site をご覧ください

<http://epc.kyoto-u.ac.jp/ceri/lecture2013/>